

- 問1 世界各地で開催された博覧会の記録によると、1853年にニューヨークで世界博覧会が開催されていた時期、アメリカは日本に対しても東インド艦隊を派遣して強く開国を求めました。当時、アメリカが日本に対して港を開くよう求めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 山梨県公立入試 類似)
- ロシアの南下政策を阻止するため、日本をアメリカの保護国にするため
 - 日本の豊富な金銀を安く買い入れ、欧米諸国との貿易決済に充てるため
 - 北太平洋で活動する捕鯨船の補給地や、清との貿易の中継地点を確保するため
 - キリスト教を広めるための拠点を日本に作り、寺社勢力を解体させるため
- 問2 幕末から明治維新にかけての歴史的出来事のうち、日米修好通商条約が締結された1858年より後であり、かつ薩英戦争の原因となった生麦事件（1862年）よりも前に起こった出来事として適切なものを選びなさい。
(2024年 山形県公立入試 類似)
- 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変
 - 渡辺崋山らが弾圧された蛸社の獄
 - 徳川慶喜が政権を朝廷に返した大政奉還
 - 諸藩の土地と人民を天皇に返還させた版籍奉還
- 問3 1860年代のアメリカで、リンカーン大統領が「人民の、人民による、人民のための政治」という演説を行った当時の、世界の歴史的な状況についての説明として正しいものはどれですか。
(2017年 和歌山県公立入試 類似)
- フランスで市民が絶対王政を打倒し、人権宣言を採択したフランス革命が最高潮に達していた。
 - 清において孫文らが中心となり、皇帝政治を倒してアジア初の共和制を目指す辛亥革命が起きていた。
 - コロンブスがスペイン女王の支援を受けて大西洋を横断し、カリブ海の島々に到達していた。
 - アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。
- 問4 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の対外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。
 - 名誉革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議会政治が日本へ紹介された。
 - 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。
 - アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。
- 問5 1838年に誕生した人物が成長し、1867年に大政奉還の建白が行われるまでの幕末の動乱期において、政治的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。
(2016年 佐賀県公立入試 類似)
- 幕府が安政の大獄によって反対勢力を一掃した後に日米和親条約を締結して開港し、その数年後に薩摩藩と長州藩が協力して薩長同盟を結んだ。
 - 薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた後、日米和親条約による開港が実現し、その後に幕府が反対派を抑え込むための安政の大獄を断行した。
 - 日米和親条約による開港が決定する前に薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結成し、その軍事力を背景に安政の大獄と呼ばれる弾圧を幕府に行わせた。
 - 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。
- 問6 1858年の日米修好通商条約締結後、日本は開国して本格的に諸外国との貿易を開始しました。この貿易において、最大の輸出港となった横浜から大量に輸出された品物と、その輸出が国内経済に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 徳島県公立入試 類似)
- 綿織物が大量に輸出されたことにより、国内の綿織物業が急速に発展し、農村が潤った。
 - 茶が大量に輸出されたことにより、国内で米の生産が放棄され、深刻な飢饉が発生した。
 - 金が大量に輸出されたことにより、国内の金銀比価が安定し、貨幣価値が高まった。
 - 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。
- 問7 1860年代の日本において、長州藩が関門海峡を通る外国船を砲撃したことへの報復として、イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国が艦隊を派遣し、下関の砲台を破壊・占領した出来事を何といいますか。
(2023年 新潟県公立入試 類似)
- 生麦事件
 - 四国連合艦隊下関砲撃事件
 - ノルマントン号事件
 - 薩英戦争
- 問8 幕末の動乱期における大老・井伊直弼の政治的行動とその経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- 日米和親条約を結んで下田と箱館を開港し、鎖国体制を平和的に終結させたが、攘夷派の反対により失脚した。
 - 政権を朝廷に返す大政奉還を行うことで徳川家を存続させようとしたが、倒幕派の反発により戊辰戦争へと発展した。
 - 朝廷と幕府の結びつきを強める公武合体を推進したが、薩摩藩と長州藩が結んだ同盟によって江戸幕府を滅亡に導いた。
 - 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後に桜田門外の変で殺害された。
- 問9 1853年、アメリカがペリーを浦賀へ派遣し、日本に対して強く開国を求めた当時の歴史的な背景として、最も適切な理由は何ですか。
(2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- キリスト教を日本に広めることで、アジアにおけるアメリカの文化的影響力を強めたかったから。
 - 日本で産出される銀を独占的に輸入することで、世界的な銀不足を解消しようとしたから。
 - ロシアによる日本南下を防ぐために、アメリカが日本を軍事的な同盟国にする必要があったから。
 - 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。
- 問10 幕末の日本において、輸出用の品物が国内で不足したことに加え、金の流出を防ぐために幕府が貨幣に含まれる金の量を減らす「万延小判」への改鋳を行ったことで生じた、経済への影響として適切な説明はどれですか。
(2024年 福岡県公立入試 類似)
- 海外から安い綿織物が流入し、物価が安定した
 - 国内の産業が発達し、物価が大幅に下落した
 - 貨幣の価値が下がり、物価が急激に上昇した
 - 通貨の流通量が不足し、深刻なデフレとなった
- 問11 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府が締結し、静岡県の下田と北海道の箱館（函館）の2港を開くことを定めた条約は何ですか。
(2017年 香川県公立入試 類似)
- 日露和親条約
 - 日米和親条約
 - 日米修好通商条約
 - 日清修好条規
- 問12 ペリーが浦賀に来航してから、大老の井伊直弼が日米修好通商条約を締結するまでの間の時期に行われた出来事として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 千葉県公立入試 類似)
- 日米和親条約を締結し、下田と箱館の2港を開港した。
 - 下関海峡を通過する外国船を砲撃し、攘夷を実行した。
 - 外国船を打ち払うことを命じた異国船打ち払令を発令した。
 - アメリカ領事のハリスが下田に着任し、貿易の開始を求めた。